

## 教 科 社会科(公民) 科 目 現代社会

授業科目	現代社会	単位数	2 単位	履修形態	必修
履修学年	高校 2 年 ICT科	コース	全コース		
教科書	実教出版 最新 現代社会	副教材	第一学習社 最新現代社会資料集 最新 現代社会演習ノート		
授業概要	一年間を通じて、現在、世界・日本の中で起こっている様々な問題を理解することで一人の地球人としてどんな行動ができるのか考察する。				
授業内容 および 到達目標	単元	目標		教材	
	1 学 期	第 1 部 1 章～3 章	この章では我々が生活している社会ではどのような課題・問題があるのか理解する。		教科書、準拠 ワーク
	2 学 期	第 2 部 1 1～3 章	この章では、自分らしく、一人の人間として、日本人としていかに生きていくのかを考察する。		教科書、準拠 ワーク
	3 学 期	第 2 部 2 1～3 章	この章では、憲法や政治の仕組みを知ること で現在の憲法・政治の課題を考察する		教科書、準拠 ワーク

# 教科 外国語

# 科目 英語表現Ⅱ

授業科目	英語表現Ⅱ	単位数	2単位	履修形態	必修・選択	
履修学年	高校2年 普通科	コース				
教科書	be 46	副教材	速読英単語 Next Stage			
授業概要	英文法を正しく理解し、表現できる。					
授業内容 および 到達目標		単元	目 標	教 材		
	1 学 期	時制 完了形	英文法を正しく理解することができる。 英単語を理解し、書くことができる。 英文を正確に表現することができる。 文法を理解し、正しい選択をすることができる。	速読英単語 Next Stage		
		2 学 期	助動詞 受動態 不定詞 動名詞 分詞 関係詞	英文法を正しく理解することができる。 英文法を理解した上で、正しく正確に解答することができる。 英単語を正確に日本語に、日本語を英単語にすることができる。 日本語を見て、英文を表現することができる。 文法を理解し、正しい選択をすることができる。	速読英単語 Next Stage	
			3 学 期	比較 仮定法 さまざまな表現	英文法を正しく正確に理解することができ、その上で、正しく解答することができる。 英単語を日本語に、日本語を英単語にすることができる。 日本語を見て、英文を表現することができる。 文法を理解し、正しい選択をすることができる。	速読英単語 Next Stage

# 教 科 外 国 語                      科 目   コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 英 語 Ⅱ

授業科目	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	4 単位	履修形態	必修・ 選択
履修学年	高校 2 年 普通科	コース			
教科書	LANDMARK II	副教材	速読英単語 Next Stage		
授業概要	英文を読み、内容を理解し、表現することができる。				
授業内 容 および 到達目 標	単 元	目 標			教 材
	1 学 期	1 年生の復習  L1 What is a Name?  L2 I' m the strongest!	英文を読み、内容を十分に理解できる。 英単語を理解したり、書くことができる。 英文を正確に表現することができる。 文法を理解し、正しい選択をすることができる。		速読英単語 Next Stage
	2 学 期	L3 Saint Bernard Dogs  L4 Chanel' s Style  L5 Science of Love  L6 Gaudi and His Messenger	英文を読み、内容を十分に理解することができる。 内容を理解した上で、正しく正確に解答することができる。 英単語を正確に日本語に、日本語を英単語にすることができる。 日本語を見て、英文を表現することができる。 文法を理解し、正しい選択をすることができる。		速読英単語 Next Stage
	3 学 期	L7 Letters from a Battlefield  L8 A Sustainable Society  L9 Secret of Vermeer' s Painting  L10 A happy country	長い英文を読み、内容を理解することができる。 内容を理解した上で、正しく解答することができる。 英単語を日本語に、日本語を英単語にすることができる。 日本語を見て、英文を表現することができる。 文法を理解し、正しい選択をすることができる。		速読英単語 Next Stage

# 教 科 家 庭 科 目 家 庭 基 礎

授業科目	家庭基礎	単位数	1 単位	履修形態	必修・選択
履修学年	高校 2 年 普通科	コース			
教科書	家庭基礎「明日の生活を築く」 (開隆堂)	副教材		生活学 Navi (実教出版)	
授業概要	家族や生活の営みを人の一生とかかわりの中で捉え、家族や家庭生活の在り方、子どもと高齢者の生活と福祉、生活の自立と健康のための衣食住、消費生活と環境などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、男女が協力して家庭や地域の生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てることを目標とする。				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標			教 材
1 学期	着る 被服の機能と着装 被服の管理と計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>被服の機能と着装 <ul style="list-style-type: none"> <li>被服の機能と着装, 素材などについて考えようとしている。</li> <li>健康で安全かつ快適な衣生活を送ることについて考え, 自分の個性を見つめ, 自分の衣生活をふり返る。</li> </ul> </li> <li>被服の管理と計画 <ul style="list-style-type: none"> <li>被服の入手, 洗濯, 保管など, 衣生活を自ら管理する知識と技術を習得する。</li> <li>組成表示や取扱い表示を理解し, 着心地や管理を考えた被服の選択について考える。</li> </ul> </li> </ol>			教科書 NAVI プリント
2 学期	住まう さまざまな住まいと住まい方 安全で快適な住まい	<ol style="list-style-type: none"> <li>さまざまな住まいと暮らし方 <ul style="list-style-type: none"> <li>生涯発達の視点で, 家族の生活に応じた適切な住居の計画や選択を考える。</li> <li>住まい手やその家族の生活と各ライフステージに応じた住生活について考える。</li> </ul> </li> <li>安全で快適な住まい <ul style="list-style-type: none"> <li>安全で健康かつ快適な住居や耐久性の高い住居を選択するために, 必要な住居の機能について理解する。</li> </ul> </li> </ol>			教科書 NAVI プリント
3 学期	子どもの発達と保育 子どもの発達と生活 子どもの育つ環境	<ol style="list-style-type: none"> <li>子どもの発達と生活 <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもがどのように発達するか, どのように生活習慣が身につくか理解し, 子どもの健全な発達を支える親や周りのおとなの役割について考える。</li> </ul> </li> <li>子どもの育つ環境 <ul style="list-style-type: none"> <li>ふれ合い実習などを通して, 子どもたちとふれ合い, 子どもの実際の姿を観察する。</li> <li>子育てに関する社会的支援や子どもの現状を知り, 子どもの権利の保障や福祉について理解できる。</li> </ul> </li> </ol>			教科書 NAVI プリント  調理実習

# 教 科 国 語 科 目 現 代 文 B

授業科目	現代文 B	単位数	3 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校 2 年 普通科	コース			
教科書	新編 現代文 B (大修館)	副教材	教科書準拠ワーク 図説 国語要覧 漢字検定問題集		
授業概要	2 学年 6 単位で履修する現代文 B の前半の 3 単位。国語総合 (現代文分野) 高校一年で修得した国語学習法の基本を踏まえ、考える授業に重点を置き、教材の読み込みから理解し、考えたことの、文書でのまとめ、発表、話し合いを中心に授業を展開する。読解のために重要な語彙力は課題として確実にこなし、漢字検定準二級取得を目標とする。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	教 材	
	1 学期	明日をひらく 小説を読む 暮らしの中のことば 社会生活と文章	表題を糸口に評論を読む 人物の言動から心情思想を捉え、主題を知る 言語の変化を捉え日本語に興味を持つ 記号・情報について考える	(漢字検定)	
	2 学期	ユーモアとゆとり 詩を味わう 自然を考える	ユーモアあふれる文章から筆者の意見を読む 修辞技法を軸に詩歌読解のスキルを養成 自然科学の評論から筆者の考えを、思い込みをせず正しく読み取る	漢字検定	
	3 学期	短歌・俳句に親しむ 名作を読む	短詩系の詩歌の技法から多くの情報を読み取り豊かな読解鑑賞をする 名作から文章の美しさとメッセージ性の双方を読み取る		

# 教科 国語 科目 古典B

授業科目	古典 B	単位数	2 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	2 年 普通科	コース			
教科書	新編 古典 B (大修館)	副教材	教科書準拠ワーク 図説 国語要覧 解析古典文法		
授業概要	2 学年 4 単位で履修する古典 B の前半の 2 単位。国語総合 (古典分野) 高校一年で修得した国語学習法の基本を踏まえ、文法や古典の常識と連動した忠実な口語訳と、自ら口語訳することで深められる読み込みと鑑賞で、古典文学のおもしろさを学習の中から見いだせるよう指導する。誤読を避ける基本事項の学習は欠かさず反復する。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	教 材	
	一 学 期	古文に親しむ 動物の寓話 笑いと思案 叙情のしらべ	説話・故事成語という親しみやすく理解しやすい古典作品を用いて前年度学習した古典学習の基本を確認  日本の思想に影響の大きい隠者の思想を学ぶ 漢詩の形式の学習と鑑賞		
	二 学 期	人が歌うとき 英雄の物語 都への思い 人間の本質	歌物語を通し当時の歌の意義・恋愛観を学ぶ 中国古代の豪快な描写と人物像とを味わう 日記文学の叙述の特色当時の旅の事情を理解 古代の思想家の思想を理解する		
	三 学 期	恋の歌 理想の世界 愛の行方	短歌の技法習得から豊かな読解鑑賞をする 中国古代の物語から思想を読む 近世の人々の人生観恋愛観を知る		

# 教 科 情 報

# 科 目 社会と情報

授業科目	社会と情報	単位数	1 単位	履修形態	必修・選択
履修学年	2 年 普通科	コース			
教科書	社会と情報 (東京書籍)	副教材			
授業概要	社会と情報 ビジネス文書実習・表計算実習・電子会計実習				
授業内容	単 元	目 標		教 材	
および 到達目標	私たちを取り巻く情報	メディアの意味と特徴を学ぶ。 情報の信憑性について理解する。 情報を批判的にとらえることを知る。		教科書	
	アナログからデジタルへ	10進数と2進数、16進数の対応について理解する。 デジタルデータの利点と情報の統合について理解する。		教科書	
	インターネットの利用	アドレスやパケット通信について理解する。 ソーシャルメディアや表現について学ぶ。 情報の発信の方法とその工夫・注意点について理解する。		教科書	
1 学 期	コンピューター実習	Word 実習。 Power Point 実習。 各種機能の使い方を理解する。		プリント	
2 学 期	コンピューター実習	ビジネス文書実習。 EXCEL 実習。 機能の使い方を理解する。 表計算実習。		プリント  プリント	
	コンピューター実習	ビジネス文書実習。 表計算実習。 高度な機能使い方を理解する。		プリント	
3 学					

# 教 科 数 学 科 目 数 学 II

授業科目	数学II	単位数	3単位	履修形態	必修・選択
履修学年	2年	コース	普通科		
教科書	数研出版 数学II	副教材	スタンダード数II (数研) 練習ドリル数II (数研)		
授業概要	<p>数学IIでは、皆さんが1年生で学んだ高校生として必要な基本や考え方を少し発展させていくとともに、式と証明、複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、微分法、積分法という新しい課題について学習します。</p>				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標		教 材	
一 学 期	式と証明	<p>整式の乗法・除法と因数分解、二項定理、分数式の加法・減法・乗法・除法、恒等式、等式・不等式の証明、相乗平均と相加平均</p>			
	複素数と方程式	<p>複素数、2次方程式の解と判別式、解と係数の関係、剰余の定理と因数定理、高次方程式の解法</p>			
	図形と方程式	<p>*点と直線 直線状の点、平面上の点、直線の方程式、2直線の平行と垂直 *円、軌跡と領域 円の方程式、円と直線、軌跡</p>			
二 学 期	三角関数	<p>*三角関数 一般角、弧度法、三角関数、三角関数の性質三角関数のグラフ、三角関数を含む方程式、不等式 *加法定理 加法定理、加法定理の応用と合成</p>			
三 学 期	指数関数 対数関数	<p>指数法則、指数関数とそのグラフ、対数の性質、対数関数とそのグラフ、常用対数</p>			
	微分法 積分法	<p>*微分法 平均変化率と微分法、導関数、微分法の公式、接線、関数の増減、関数の極大・極小最大・最小、方程式・不等式への応用 *積分法 不定積分、不定積分の計算、定積分、定積分の性質、面積</p>			



# 教 科 数 学 科 目 数 学 B

授業科目	数学B	単位数	2単位	履修形態	必修・選択
履修学年	2年	コース	普通科		
教科書	数研出版 数学B	副教材	スタンダード数B (数研) 練習ドリル数B (数研)		
授業概要	<p>数学Bでは、数学Iを学習後、数学IIや数学IIIとは独立した形で適宜選択し学習することが出来ます。初めての概念であるベクトルを学び、数列ではその規則、特徴、性質を学びます。また、確率分布や統計的な推測について学びます。</p>				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標		教 材	
一 学 期	平面上のベクトル	<p>*ベクトルとその演算 ベクトルの和・差・実数倍・成分と演算・内積、平行・垂直、内積の性質</p> <p>*ベクトルと平面図形 位置ベクトル、ベクトルと図形、ベクトル方程式</p>		練習ドリル	
	空間のベクトル	空間の座標、空間のベクトル、ベクトルの成分と演算、ベクトルの内積、位置ベクトル、空間図形への応用			
	数列	<p>*数列とその和 数列、等差数列、等差数列の和、等比数列、等比数列の和、和の記号<math>\Sigma</math>、自然数の2乗の和、いろいろな数列の和、階差数列</p>		スタンダード 練習ドリル	
二 学 期	数列	<p>*漸化式と数学的帰納法 漸化式と一般項、数学的帰納法、フィボナッチ数列と黄金比</p>		スタンダード 練習ドリル	
	確率分布と統計的な推測	<p>*確率分布 確率変数と確率分布、確率変数の期待値、分散と標準偏差、二項分布、二項分布と期待値、分散、標準偏差</p> <p>*統計的な推測 正規分布、二項分布の正規分布による近似、母集団と標本、標本平均の分布、母平均の推定、母比率の推定</p>		スタンダード 練習ドリル	
三 学 期					

# 教科 保健体育

# 科目 体育

授業科目	体育	単位数	2単位	履修形態	○必修 ・ 選択
履修学年	高校2年 普通科	コース			
教科書	なし	副教材	アクティブスポーツ 大修館書店		
授業概要	運動を通して知識を深めるとともに技能を高め、体力の向上を図り、生涯スポーツの実現を目指す。				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標			教 材
	1 学 期	体育理論	スポーツの文化的特性について理解できるようにする。		
		体ほぐし運動	運動を通して、自己の体に関心を持ち、自分や仲間 の状態に気づくことができるようにする。		
		新体力テスト	持久走を含む8種目 A ランクを目標		
		水泳	自由形・平泳ぎ・背泳ぎの3泳法の個々の能力の 向上を図る。		
		バスケットボール	ドリブル、パス、シュートにおける個々の能力の 向上を図る。		
	2 学 期	ダンス	創作を通じて仲間との交流を図り、楽しさをより 強く表現できるようにする。		
		器械運動	柔軟性を高めていくことを目指す。ほん転系の技 を正しい姿勢でできるようにする。		
		体育理論	スポーツの文化的特性について理解できるように する。		
		新体力テスト	持久走を含む8種目 A ランクを目標		
	3 学 期	サッカー	パス、ドリブル、シュートの技術の向上を図り、 安全な試合展開ができるようにする。		
武道		基本的な技術を身につけ、試合での勝敗を競い合 う楽しさや喜びを味わう。			

# 教 科 保健体育

# 科 目 保健

授業科目	保健		単位数	1 単位	履修形態	○必修 ・ 選択
履修学年	高校 2 年		コース	全コース		
教科書	現代保健体育（大修館書店）		副教材	現代保健ノート（大修館書店）		
授業概要	<p>私達の身体と心は年齢と共に変化している。健康の為に私たちや社会のなすべき事も同様に变化する。ここでは、思春期から中高年期までの健康に関わる事や、各年齢層で必要な保健・医療サービスの活用などを学習させる。又、健康で生きていく上で私達を取り巻く自然環境、また社会制度や活動などが深く関わっており、個人の努力とが組み合わさって健康が実現する。健康に関する環境・食品の問題や働く事と健康との関連について、学習させたい。</p>					
内容		単 元	目 標		教 材	
および 到達目標	1 学 期	生涯を通じる健康	思春期の身体と心の健康を理解させる。		生涯の各段階 における健康 P C 使用	
			性意識の男女差・性的欲求・性行動について知る。			
			心身の発達と健康な結婚生活を理解させる。			
	2 学 期		受精・妊娠・出産について知る。		性についての 話し合い 保健・医療制 度及び地域の 保健・医療機 関	
			家族計画と避妊法について理解させる。			
			加齢と健康について知る。			
			高齢者の保健・医療・福祉について理解させる。 (医療制度を含む)			
	3 学 期	社会生活と健康	食品と環境の保健について		環境と健康 P C 使用	
			大気汚染・水質汚濁・土壌汚染と健康被害について			
			公害について調査			
			健康被害の防止と環境対策を知る。			
				労働災害・職業病について		労働と健康

# 教 科 理 科 科 目 生 物 基 礎

授業科目	生物基礎	単位数	3 単位	履修形態	必修
履修学年	2 年	コース	普通科		
教科書	第一学習社 改訂高等学校生物基礎	副教材	第一学習社 セミナー生物基礎		
授業概要	地球上に生息している多様な生物の共通点について理解を深める授業です。これらを理解することで生物が生きていくために必要な仕組みについて理解をすることが出来ます。また、生物同士や生物と環境との関わりについても学習します。				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標		教 材	
1 学 期	生物の特徴	生物に様々な種類がいるが、共通性もあることを理解する。生物を形成している細胞の様々な機能について理解する。		原核生物 真核生物 顕微鏡	
2 学 期	遺伝子とその働き  体内環境と恒常性	遺伝子とは何か。どのようにして親から子へ伝えられるのかを理解する。また、遺伝子が体の中でどのように働いているかを学ぶ。  生物の体内環境はさまざまな働きによって一定に保たれていることを理解し、その仕組みについて説明することができる。		DNA タンパク質 転写・翻訳 体液 肝臓・心臓 腎臓	
3 学 期	植生の多様性と分布  生態系とその保全	生物がそれぞれの環境に適応してきたことを理解し、どの地域にどのバイオームがみられるかを考えながら理解する。  生態系の成り立ちと、それを取り巻くさまざまな環境問題などについて学ぶ。		バイオーム  生態系 地球温暖化 外来生物	